

令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備“に取り組む	
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	✓
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き今年度事業化に取り組む	

活動団体名：郡上市地域共生圏協議会

活動地域：岐阜県郡上市

地域資源を活用して、

「経済×社会×環境×観光」を実現しよう

活動団体紹介

地域の現状

◎活動地域の概要

- 市全域の9割が森林であり、そのほとんどが一級河川「長良川」流域
- 郡上踊りなど観光産業が盛ん



◎活動地域の特性

- 移住・定住者が年々増加傾向にある
- 他の同規模地域と比べて域内利益率が高い
- 人口減少及びエネルギー費の域外流出

◎活動地域にある地域資源

- 自然資源・観光資源
- 行動力・発信力・巻き込み力を持つ「移住者」
- 地域資源に関する情報や人脈を持つ「地域団体」
- 実践力を持つ「市民団体」など

地域の課題

◎現状から考える地域の課題

- 人口減少、少子高齢化
- 次世代・移住・定住者の生活の糧を得る仕事作りや住みよい環境作り
- 都市部とのつながりの強化

◎今後取り組むべき課題

- 再生可能エネルギーの活用によるエネルギー費用の域外流出の抑制
- 産学官金が共に考え、分野を横断した取り組みに発展させるための体制づくり

◎地域循環共生圏構築を通じて、具体的に解決しようとする課題

- 再生可能エネルギーによって得た利益を原資に、市民や観光客の交通手段の充実、社会福祉や防災等のバックアップを行う。その運用手段として、デジタル地域循環共生圏PF構築による、地域通貨の導入も検討する。

現時点での地域版マンダラ

観光立市GUJO

郡上市循環共生圏



地域課題解決型事業

再エネ・省エネ事業

ありたい地域の未来を実現するために何をするか

ありたい地域の未来

地域資源を活用して、漏れバケツに栓をしよう。

ありたい地域の未来を達成するために、中長期的に見て必要な取組や仕組みは何か

脱酸素社会に向けて、再エネ、省エネ事業の推進 → 地域内で稼ぐ事業

資金循環

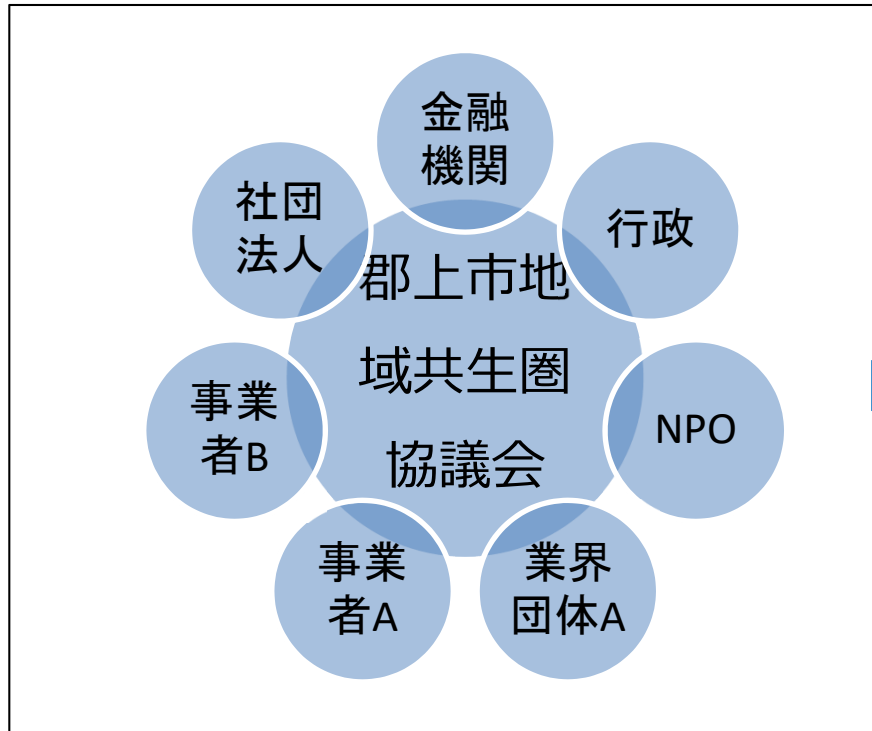
地域課題解決方事業

今年度取り組みたい事業のタネや取組み(本事業でチャレンジしたい事)

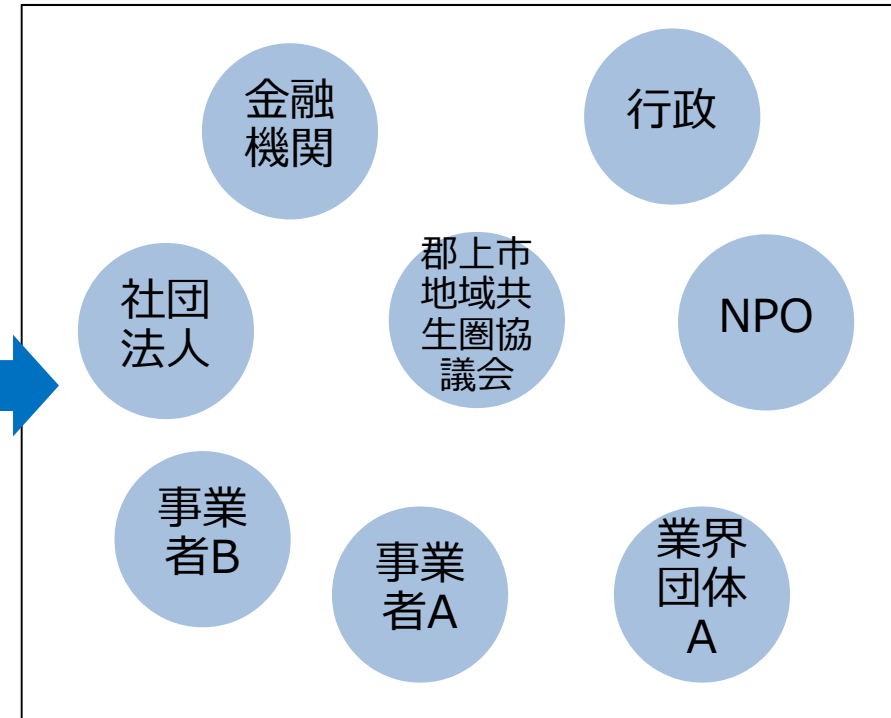
- ・地域の民間企業による、再生可能エネルギー活用事業の推進
- ・観光も日常も充足させる、郡上版地域内交通(maas)の検討
- ・観光に新しい価値を生む、E-MTB移動×観光事業(CO2排出ゼロ)

目指す"地域プラットフォーム"のイメージ

2020年4月
構築したい地域プラットフォームのイメージ



2021年6月現在の地域プラットフォームの状況



より強化したい地域プラットフォームの機能

- ・郡上全体で地域循環共生圏という枠組みが描きにくかった(地域循環共生圏の理解)
- ・全体で一つというより、プロジェクトベースのステークホルダーとの連携強化
- ・地域循環共生圏という横串による連携の見える化

年間スケジュール（参考資料）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			◆キックオフミーティング ← 協定締結（活動予算執行開始）				→ 現地意見交換会		◆中間報告会 ◆中間報告書提出期限			◆成果報告会 ◆活動団体成果報告書提出

現在、検討中